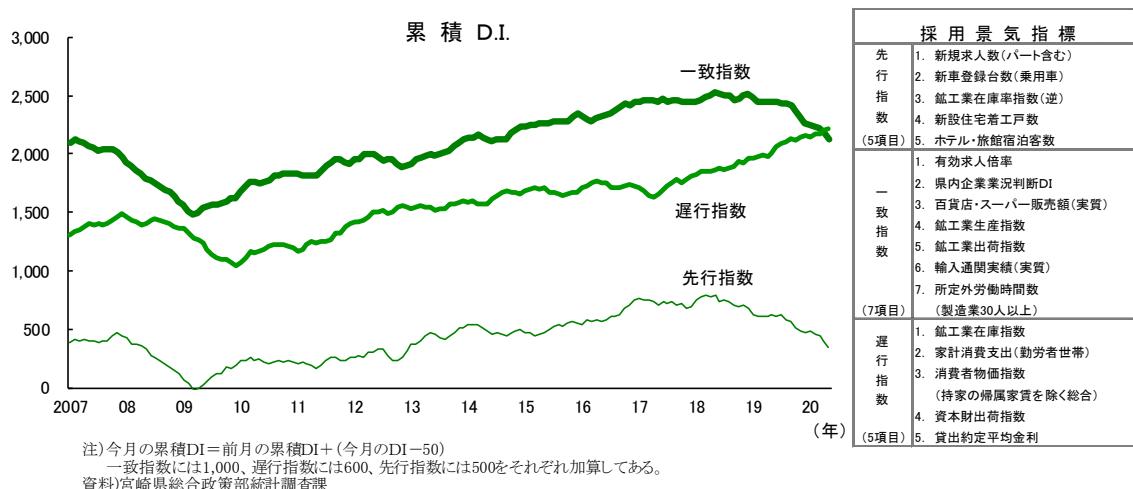


## 1. 景気動向指数

2020年6月の景気動向一致指数は、有効求人倍率、県内企業業況判断DI、鉱工業生産指数、鉱工業出荷指数、輸入通関実績（実質）、所定外労働時間数の6項目がマイナスとなり、全体では14.3%と13カ月連続で50.0%を下回った（7項目のうちプラス1、マイナス6）。

先行指数は、新車登録台数（乗用車）、鉱工業在庫率指数（逆）、新設住宅着工戸数、ホテル・旅館宿泊客数の4項目がマイナスとなり、全体では20.0%と5カ月連続で50.0%を下回った（5項目のうちプラス1、マイナス4）。

遅行指数は、家計消費支出（勤労者世帯）、資本財出荷指数、貸出約定平均金利の3項目がマイナスとなり、全体では40.0%と5カ月ぶりに50.0%を下回った（5項目のうちプラス2、マイナス3）。



**景気動向指数**：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を3カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したもの。景気の現状を表す一致指數と、一致指數に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指數、数カ月遅れて動く遅行指數の3つがある。一致指數が数カ月連続して50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指數の算出方法

景気動向指數=(プラス項目数+横ばい項目数×0.5)÷(プラス項目数+横ばい項目数+マイナス項目数)×100(%)

## 2. 鉱工業生産

6月の鉱工業生産指數は、81.8で前年同月比11.7%減と9カ月連続で前年を下回った。

主要業種別にみると、電子部品・デバイス（同7.3%増）、化学（同34.0%増）が前年を上回ったものの、食料品（同10.9%減）、繊維（同25.4%減）が前年を下回った。

## 3. 建設関連

### ① 公共工事

8月の公共工事請負金額は、142億9,700万円で前年同月比10.0%増と6カ月連続で前年を上回った。

発注者別にみると、国が同74.1%増、県が同47.4%増、市町村が同27.7%減、その他（独立行政法人等）が同50.4%減となった。

### ② 着工建築物

7月の着工建築物は、棟数は466棟で前年同月比15.1%減、床面積は7万9,635m<sup>2</sup>で同32.7%減となった。

内訳をみると、居住用は棟数同13.7%減、床面積同28.8%減となり、非居住用は棟数同19.8%

減、床面積同 37.2%減となった。

非居住用の床面積を用途別にみると、鉱工業用同 17.6%減、商業用同 80.3%減、サービス業用同 4.9%減となった。

### ③ 住宅着工

7月の新設住宅着工戸数は、貸家が前年を上回ったものの、持家、給与、分譲が前年を下回り、県内合計は 508 戸で前年比 22.8%減と 3 カ月連続で前年を下回った。

市郡別にみると、市部は持家、給与、分譲が前年を下回り合計は 450 戸、同 22.7%減となった。また、郡部合計は 58 戸、同 23.7%減となった。

(利用関係別)

持家は 243 戸、前年比 22.4%減となった。

貸家は 183 戸、同 12.3%増となった。貸家を建築主体別にみると、公営住宅（前年 0 戸→本年 10 戸）、民営貸家（同 163 戸→173 戸）ともに前年を上回った。

分譲は 80 戸、前年比 55.1%減となった。一戸建て（前年 52 戸→本年 80 戸）は前年を上回り、マンションは着工がなかった（前年 126 戸）。

## 4. 個人消費関連

### ① 百貨店・スーパー販売動向

7月の百貨店・スーパー販売額は、63 億 1,900 万円で前年同月比 1.8%減と 5 カ月連続で前年を下回った。

商品別では、衣料品は 9 億 5,400 万円で同 17.0%減、飲食料品は 34 億 8,000 万円で同 2.4%増、その他計は 18 億 8,500 万円で同 0.2%減となった。

### ② 乗用車新車販売動向

8月の乗用車新車登録台数は、1,394 台で前年同月比 20.1%減と 11 カ月連続で前年を下回った。

車種別にみると、普通車は 638 台で同 31.2%減、小型車は 756 台で同 7.6%減となった。

## 5. 空港乗降客数

8月の宮崎空港乗降客数は、7 万 1,379 人で前年同月比 77.5%減と 7 カ月連続で前年を下回った。

乗客数は 3 万 5,987 人（前年 16 万 1,345 人）と減少し、降客数も 3 万 5,392 人（前年 15 万 5,287 人）と減少した。

## 6. 消費者物価指数

7月の宮崎市の消費者物価指数は、102.0 で前年同月比 0.5%増となった。

これを費目別にみると、家具・家事用品（前年同月比 5.8%増）、食料（同 3.0%増）、教養娯楽（同 1.4%増）など 6 費目が上昇した。

## 7. 企業倒産

8月の企業倒産件数（負債額 1,000 万円以上）は 2 件で前年同月比 50.0%減となった。負債総額は 4,200 万円で同 75.7%減と 8 カ月ぶりに前年を下回った。

## 8. 雇用情勢

7月の有効求人倍率は、前月と同水準の 1.10 倍だった。

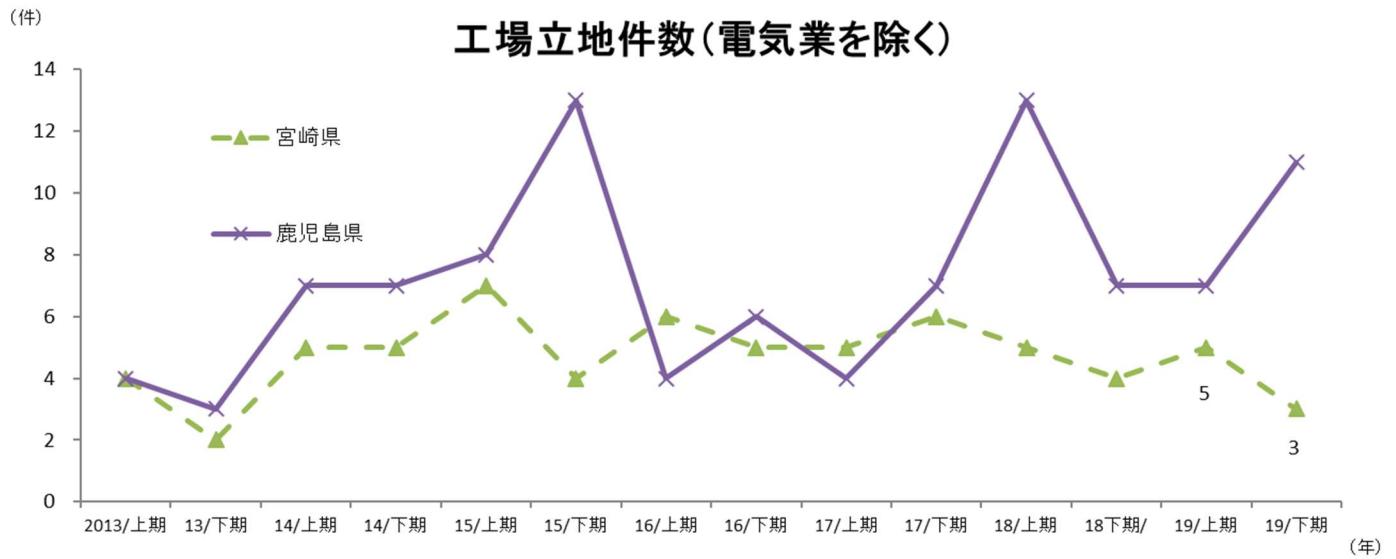
新規求人数は、7,797 人で前年同月比 7.5%減となった。

農、林、漁業は 68.3%増、複合サービス事業は 62.0%増など 3 産業が増加となった一方、卸売業、小売業は 44.2%減、製造業は 32.2%減、サービス業（他に分類されないもの）は 30.2%減など 15 産業が減少した。

雇用保険受給者数は、5,013 人で同 9.8%増と 2 カ月連続で前年同月を上回った。

## 〈今月のトピックス〉～ 宮崎県の工場立地件数

宮崎県の2019年の工場立地件数は8件（上期5件、下期3件）で、前年比で1件減少した。内訳をみると食料品、木材・木製品は各2件、化学工業、金属製品、輸送用機械器具、ガス業は各1件となっている。



注) 2019年は速報値

資料)九州経済産業局「九州の工場立地動向調査」